

# 演習2:

## オブジェクトと式と型 (教科書2.1.1節)

- オブジェクト(object)
  - 型を持つ操作単位。
- 型(type)
  - 数字や文字等の種別のこと。
  - 整数: integer, int
  - 浮動小数点数(小数): floating point numbers, float
  - 論理値: boolean value
    - True, False
  - 文字列: string, str
  - 空(値を持たない状態)
    - None
- 式(expression)
  - オブジェクトと命令を紐付ける命令文。

```
• コード例
oct:tnal% python3
>>> 3 + 2
5
>>> 3.0 + 2.0
5.0
>>> 3 != 2
True
>>> type(3)
<class 'int'>
>>> type(3.0)
<class 'float'>
>>>
```

**type()**は、値の型を確認するための関数。  
**関数**とは、ある特定の機能を提供する部品(と当面は考えよう)。

**プロンプト(>>>)**とは、シェルやPythonインタプリタが「ユーザからの入力を受付可能である」ことを明示するもの。